閉坑を迎えた大浦

去る人は愛惜を覚ゆる

明治六年からの炭鉱が、昭和二十年に再開なつて、また廃坑になろうとしている。その名は「大浦坑」である。永い歴史と変化をもつ大浦坑へ本紙編集部は、その永い功績をたゝえる意味で追悼の座談会を、同職場分会の協力で平島編集部長が司会となり開催した。

司会　先づ昔の大浦坑について語つて頂いますか……こゝには囚人が下つていたということを聞きませんか。

A　明治十二、三年頃下つていたということを聞きます。いまでもその当時自然発火した坑道が密閉されたまゝだそうです。

B　私が覚えているのは、四十年ぐらい前のことですが、その当時は、こゝの石炭は小さな電車で七浦の撰炭場まで行つていたようです。

司会　この坑はいつ再開されたのですか。

O　東側の盛頭坑は昭和十八年頃から掘つていましたが、二十年頃になつてこの大浦の方に集約され再開されました。

司会　こゝで働いている人が多い時は何名ぐらいでしたか。

A　着炭した時は二十名ぐらいでした。

C　一番多い時は五百四十人ぐらいで、これに本坑出張者（事務系統）をいれるともつと多くなる。

司会　これまで、このやまで大きな炭害というのはどういうものですか。

A　二十一年に十数名が坑道に詰まつたことがありますネ、犠牲者は出なかつたけど。

B　大体一年に二、三名は死んでいます。

司会　本坑に移転することになると思いますが、こちらと比べて何か不便になることはありませんか。

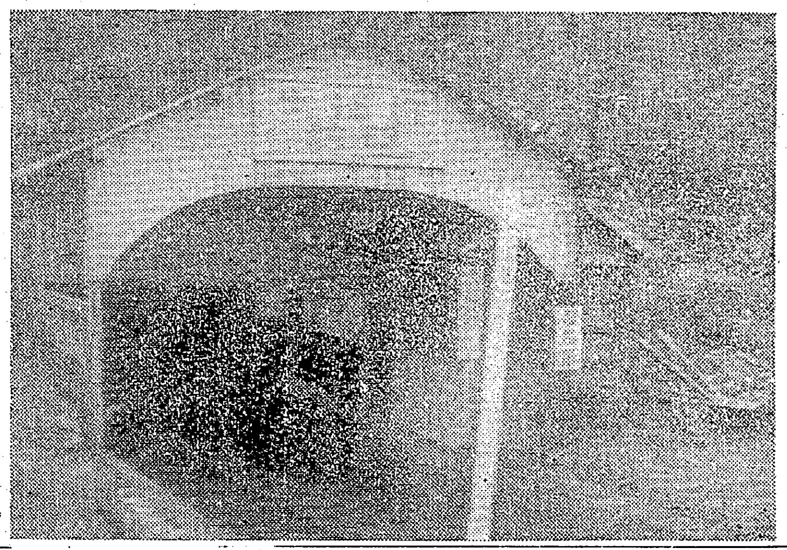
O　大浦坑だけの社宅に入つている人が遠くなるし、大浦の伝統と雰囲気はすてたくないという気持があつて、同じ所で仕事したいと思います。

官営から三井へ

囚人も下つていた

その他いろいろの思い出が語られたが、紙面の都合で掲載出来ないが、同坑の坑口脇の記念碑に

明治六年官営の三池炭山として開坑、廿二年三井家がこれを継承して初めは専ら人力によつていたが、九年に坑底に炉を設けて通風の設備をやり十一年汽力捲揚機が備えられ廿年蒸汽ポンプが人力、水車馬力ポンプに変り、廿三年七浦に通ずる疏水道が開かれた廿四年には電力が応用され、廿九年には盤下炭採掘りが始められ、卅九年には別に第二坑を開いて旧坑の残柱を採掘して出炭総計七百余屯に発展したが、大正十五年二月に廃坑した。なお汽力捲揚機の礎石や明治十四年煉瓦で作つた油小屋等がありこれを用いて記念碑を作つた。と記してあるのが目についた。



借りたが最後地獄

借金は再びくり返しません

特別生活対策に対する声

いま炭鉱の労働者は大手、中小を問わず、その七〇%から八〇%は借金に苦しんでいる。今度組合では特別生活対策として労金その他から約一億七千万円を借入れて、この借金で苦しんでいる組合員の共済に当ることを決定し、これを実施した。先づ借金の原因は低賃金であることもあげられるが、その多くは生活設計の不完全から、借金のドロ沼に落ち込んだ人々が多い。組合ではこんどの借金対策とともにこれらの人々をはじめ全組合員に家計簿を配布し、完全に炭鉱から高利貸を追放し、借金のない生活を樹立するよう各支部毎に努力がなされている。編集部ではこれに関係した人々にいろ〳〵話を聞いてみた。

利子で食うのだ

高利貸の声

先づ債権者である金融会社（俗に高利貸）の言分について聞いてみた。

○○金融会社

私達も利子で喰つているんですから、こう組合から値引されては立つて行きませんよ

××商事会社

これから貸してくれるなと云つていなさるが、もうこの人にはこり〳〵で貸せと云つても貸しません

△△金融会社

毎日〳〵組合に出で来て引合ませんよ、まだ何日位続くんですか。日当でももらわにや引合わんですよ、利子は値切られるし組合の人にはかなわんですよ

全く高利貸と云うのは金、金、金、拝金主義者が多い。

生活を立直さねば

借りた人の声

○雑役夫（本所）

これで何とか肩の荷が下りたようでホツトしました。乏しいながらも幾らか明るいお正月を迎える事が出来ます

○事務手（本所）

十一月中に貸してもらうと、十二月の利子が助かつたのにとこまい話だが実際一ケ月の利子も馬鹿になりません。何しろ給料が少いのでこんどは根本的に生活を立直さねばと思つています

○A氏（宮浦）

私はこんど十五万ばかり申込みしたんですが、九万円ばかり借りられたのでなんとかなると思うが、給料がこう少くては今後も心配です

○主婦（四山）

これでこりらんなら何でこりましようか、もう借金はせんごつせんなら

○採炭工（四山）

借金は一寸油断するとボロボロ出来ます。つけ出したしこ貸してもらいたかつた

○主婦（三川）

父ちやんの病気でつい借金しました。こんど組合のおかげで助かりました、もう借金せんごつします。

借りた人達は口を揃えて、賃金が安いから借金が出来ると述べ、こんどは生活改善で何とか借金せぬような生活をしたいと語つている

悪質利用者もいる

非該当者の声

では同じ組合員で同じ賃金ベースをもらつている借金しなかつた組合員の人の声は

事務手A（本所）

借金が低利で肩代りされてこれで組合員も後顧の憂いなく組合運動に邁進出来ると思います。吾々労働者が一度借金したら地獄におちたと同様で仲々はい上れないので先づ借金しないこと

事務手B（本所）

この貸出しが結局元の木阿弥にならぬ自覚が大切、折角の救済が借金を殖やすだけにならないように

守衛（本所）

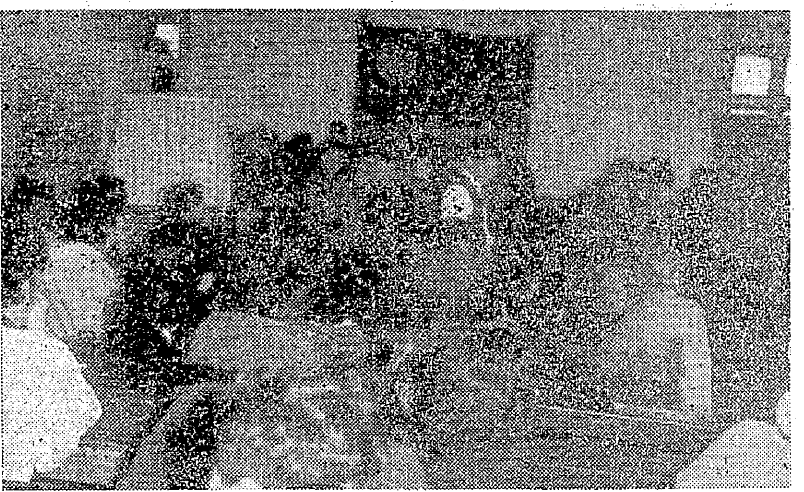
貸出しに執行部も一部組合業務を犠牲にして午後六時、七時までやつているそうだから非難するには当らぬ、こんど借り入れした人達は闘争期間中、執行部を長時間釘づけにしていることは他の組合員に迷惑をかけていると思つていただきたい

特務手（本所）

噂だから真偽はわからぬが、或る支部の若い工員がこの金で花街に行つたというが、これがほんとうなら執行部は徹底的に調査し全額回収すべきだ

坑外夫（宮浦）

今度の貸付をうける人々の中には色々と事情のある人々だと思います。然し私が知つている人でこの貸付を利用したような人もある、組合で全員に満足の行く程の金が無いと云つている時本当に困つたものだ



正しい家計簿で借金追放だ（家計簿のつけ方の講習会）

マル炭制度廃止

ダガ質量とも前と同じ

十二月一日より炭鉱の丸炭制度並びに家族加配米が廃止になりました。この経過について簡単にお知らせ致します。

現在各家庭に配給されている量は確保する、ということで制度そのものは改革されても量自体は確保されたので陳情団としても、全国の炭鉱代表（経営者、組合、配給責任者）で了解されたわけであります。

十二月一日の実施についてはどうしても間に合わないので、十二月分は暫定措置として乙券を発行されることになつています。では丸炭及び家族加配が廃止になつたので、どうなるかと申しますと基準米は一般県民同様十五日分（内地米、準内地米、外米の二分の一）になります。今まで炭鉱は二十二日分もらつていたので差が七日分あります。これと家族加配の配給分は特配通帳の中に記入致しますが差の七日分は出勤方数には影響なく暦日で行きます。家族加配は今までの出し方で記入致します。

外來も賣店で

なお外米の配給所（賣店以外）で取つておられた方は十五日の基準米のみ今まで取つていた所で取つて差の七日分は賣店で取ることになります（理由は七日分と家族加配米は労務加配という形でまいりますので）今回の改訂により労務加配は坑内、坑外A、坑外Bの三本になつておりますが、三池としては現在各人の加配米そのものに各家庭の一日の配給量を出し、七でかけた分と今までの家族加配ということになります。

非常に面倒になつておりまして、種々間違いが起ると思いますので各人の特配通帳には必ず住所を記入しておくよう、また紛失のないよう十分御注意をお願い致します不明の点は各賣店長にも説明してありますから問い合せて下さい。

厚生部

こゞめを差したか？

大地評　吉田内閣署名運動

十二月四、五日の両日大地評では気息えんえんたる吉田内閣の止どめを刺すべく市民に呼びかけて、署名運動を東新町、銀町、松屋前、栄町西鉄駅前、上官町、国鉄駅前、県境、荒尾駅前、桜町（一部橋）の九ケ所に分れて行なつた。

相次ぐ汚職に全く愛想をつかされている実態は、この両日に約六千名の署名があつたことでも如実にのぞかれる。

……吉田を辞めさせるなら署名しましよう。と署名するオツさん。

……早く吉田を辞めさせんとでけんですね。という学生たちや、つかつかと来て署名して行く三十五六のオバさん等非常に保守内閣に反対の気運が随所に見られて、気を強くさせられる場面もあつた。

蓮尾氏（前事務局長）談

非常に保守内閣に対する市民の反感が見られて喜んで協力して貰つたが、一部には未だ保守内閣でなくては駄目だというふうに考えている者もあり、国民を理解させるためには今後も気永く徹底した啓蒙を行わなければならぬと痛感している。

なおこの署名運動は去る十一月二十一日の秋季要求貫徹大会で決定されていたものである。

吉田をぶつ倒せ！築町での署名風景

中小鉱に温い手

三染主婦や小學生から

政治の不手際を一手に引受けて悲惨な生活と闘つている中小炭鉱の同志たちには現在まで各組織をあげて救援が続けられているが、最近各方面からも続々と愛の手が差し延べられて来ている。

組合本部にもこの悲惨な山の人たちに僅かですが送つて下さいと、暖い贈物が寄せられており、本部執行部を感激させている。

贈り主は三池染料城町社宅の婦人会の人たちで年末の苦しい財布から出し合つた二・四五五円を中小炭鉱の山の子供たちの資金に、と真心のこもつた金を届けられた。

銀水小学校四年五組（担任江口蛍子先生）の生徒から集められた学用品、米、麦、日用品など、同じく五年四組（担任運局溜子先生）の生徒から集められた学用品、衣料、日用品など温い愛の品物が届けられて、山の人たちの喜ぶ表情を瞼に描いて発送された。

三池
たんぷきょう
炭婦協

解散を望むや切

鳩山内閣への職場の聲

汚職内閣として憲政史上未曽有の悪評を博し国民の信頼を急速に失つた吉田内閣も、保守党内部の醜い争いから久しくモタついた新党の誕生とともに命とりとなり、われわれ働く者に多くの弾圧を加えて数の暴力で幾多の横暴を振まつたワンマン吉田首相も残がいをさらけて去る八日つい追いつめられて総辞職をなし、バトンは鳩山一郎氏に渡されたが、これも左右両社党の選挙管理内閣とするとの条件で協力を得て鳩山内閣誕生となり内閣の寿命も〃時〃の問題となつているが、本紙では「鳩山内閣に何を望むか」のテーマのもとに職場の声を集約してみた。

総選擧で出直せ

北岡（本部書記次長）

何も望むところはない。一日も早く総選挙をもつて本当に民意を問うべきだ。今度総理大臣になつたのも選挙管理内閣が条件だと解釈しているのでこの性格を理解して仕事をやつて貰うだけだ。

解散以外に無用だ

満田（大地評事務局長）

早く解散して貰いたい、他に何もいうことなし。

解散の精神生かせ

遠藤（西鉱連副執行委員）

解散の精神を生かすようにして左右両社と話合つて早急に解散を行ない国民の批判を率直に生かして行くような方向にやつて貰いたい。

解散あるのみだ

山口（坑内特務）

結論的にいえば早急に解散して総選挙を行うべきだ、これ以外に何も望むことはない。

一片も期待持てぬ

松田（製罐工）

たいしたことはない、恐らく四月に解散をせねばなるまい。一かけらの期待もかけていない。

選擧で輿論に従え

藤木（外運）

何も期待は持つていない。早期解散をして全国民の声を聞くべきである。吉田と似たりよつたりで変つた点はないので、われわれとしては解散を望むばかりだ。

同じ穴のタヌキだ

平島（マツサージ手）

吉田と代つても同じ保守内閣で五十歩百歩だ。吉田も鳩山も変りはない、あく迄も選挙内閣であつて他の何ものでもない。早急に解散して革新陣営の確立を図らねばならぬ。

人氣取は止めろ

山（船積手）

人気挽回的な一時的の虚勢は止めて、可及的速かに解散をして貰いたい。この他に望むことは何もありません。

正月料理

昆布巻

こんぶ

塩（乾）魚

干ぴよう

砂糖…煮汁の一五%

醤油…塩分として煮汁の三−四%

作り方

①こんぶは北海道や岩手県が産地で利尻、日高こんぶが有名です肉の厚いもので色は黒くて光沢のあるものが良い品です（褐色がかつたものは下級品もしくは古いものに多い）

②こんぶは砂を落し、ぬれぶきんで良くふき約二五糎位に切る

③干魚（塩さかな）いりこ、煮干さば、ぶり、ふな、やまべ、はぜ、焼き魚もしくは肉等をシンにしてこんぶでまき、干ぴようで二巻位して結ぶ

④鍋に並べ入れ、かぶる程の出汁又は水を入れて煮立てゝ後弱火にして三時間ばかり煮る、途中で煮つまつたら湯をさす

⑤しんまで火が通つたら醤油と砂糖を入れ弱火で煮つめる

わさび和え

わさび…大匙一（とき芥子）からし粉…小匙一、生ガ下し汁

豆腐…一丁

砂糖…大匙三

作り方

①わさびをすり下す

②豆腐は熱湯をかけ水気をしぼり鍋で空煎りする

③①と②とをすりばちで良くすり砂糖を入れ更に良くすりまぜる

④これにうすくそぎ切りにした数の子を加える

お茶配給車

お目見得

製作所でお昼近くになると「アリヤ何んじやろか」と厭われる車が出現する。これはお昼弁当に是非必要なお茶配給車である、これまではバケツと天ピン棒でエツサ、オツサとかついでいたのであるがどうも原始的であるとして改善され作られたのがこのお茶配給車である。この配給に当る小母さん達も、幾分か楽になつたが雨降りには困ります、と云つていた。

三鉱美術部を作ろう

投書

地方の芸術家と自認し、文化人だと謳歌する美術愛好家が、他力本願の展覧会で満足して、デタラメな陳列の会場を見て、文句一つ云わないのはナンセンスである。また個性だ、個性だと騒いだとて、自己満足的な表面的通俗性の作品を、芸術だと豪語する如きは、素人の戯れである。この事実が、地方特有の不勉強性に油を注ぎ、芸術の本質の把握を黙殺している。芸術の本質が、創造であることは云うまでもない。しかし画家の個別的個性の幻想で、事大主義な模倣作品、或は視覚的即興作品を、如何程製作した所で、絵具の損失だけである。職場美術としての三鉱展にしろ、会社の催しにまかせきりで、侮辱的陳列をなされても、年々繰返している。それでいて陰で、『あんな展覧会ではいけない、もつとどうかしなくては』と、憤慨している。陰で個々に、どれ程憤慨したとて、展覧が良くなる事はない。素人（完全な素人）の陳列で、選者と出品者が、会場効果を云々しても、何になろう。役所の玄関で、しかも階段の陰で、三段掛の展覧会に、何を求めようとしているのか。史上空前の惨事である。こんな他人本願の展覧会で、地方の、職場の美術が向上するが如き錯覚を覚えるのは、禁治産者より外にあるまい。このたび文化祭として美術展が、会社主催で開かれることは、感謝に耐えない。がこの展覧会の不当な事実を目前にし、以前に似た侮辱的展覧会を繰返せば、せつかくの美術展が台なしになる。美術品の陳列が如何に壁面が重要な要素であるかは、音楽会が、会場の要素を無視して出来得ない事と同一である。

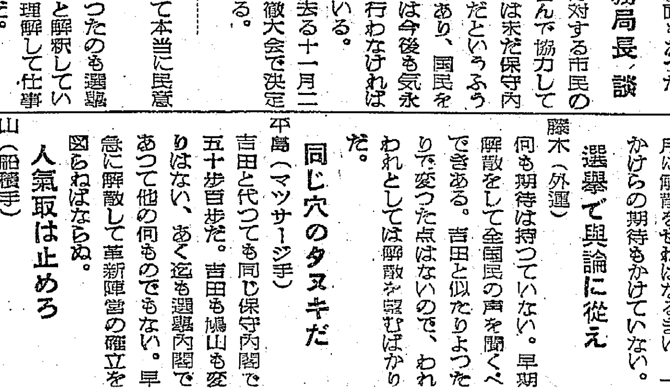
この様な事を繰返してはいけない。そこで私は、三鉱の美術部を強く要望する。会社主催のものであれ、専門的研究をしている美術部の方々が、展覧会を運営して、立派な壁面で美しい展覧会をすべきだ。そして総ての人の愛する美術展にすべきである。そして美術部の設立により、より一層の専門的研究も出来ることになる。そのために、三鉱に『美術部』を作ることを提唱する。

—美術愛好家—

三作17回目の優勝

三鉱卓球大会

恒例の三鉱卓球大会が十一月二十八日（日曜）午前九時から本社体育館で熱戦を展開した。団体試合では、A、Bチームに分れ各鉱所のチャンピオンたちが腕によりをかけて美技を競つたが、結局三作と本所が優勝戦を展開して熱戦したが三作が3対2で本所を破り、前年に引続き連勝を樹立てた。個人試合では男子は磯田選手（三作）が強豪吉田選手の攻勢を押えて堂々たるベテラン振りを示して優勝、女子は小宮サヨ子さん（本所）が晴れの優勝に輝いた。



試合成績次の通り

◇団体試合

※Aチーム

三川　5−0　四山

三川　4−1　四山

三作　5−0　三川

※Bチーム

本所　4−1　宮浦

宮浦　3−2　三港

本所　4−1　三港

◇優勝戦

三作　3−2　本所

◇個人試合

※男子　優勝磯田実（三作）②古賀安道（本所）③砥上元記（三作）黒田俊明（三作）

※女子　優勝小宮サヤ子（本所）②川島タヅ子（本所）

谷口氏（三作）談

優勝戦で本所と接戦をやつたが問題は矢張り練習の多少が最後の勝を制すると痛感した。本所もよくやつたが練習が不足していた様だつた。どうしても練習が不足すると自信が出ない。この大会も十八回目だが中一回ぬいて後は全回三作が勝続けているので、この試合だけは是が非でも勝たねばと全員の激しい気魄と練習の贈物だと思つている

【写真は同卓球大会】

医者上野は労働者の敵

玉眞重章

こんどの三池炭鉱労働組合のこの特別生活対策に街の人達は勝手な推測をなしているようである。とくに通町の医者である上野氏は、炭鉱の借金はゼイタクとストからだと、地元新聞に広言していたがこれについて同じ医者である玉眞氏は「医者上野は労働者の敵」として要約次の様な文を寄せられた。

借金は贅澤から？

最近大牟田日日新聞に市内八尻町の医者である上野氏が三井鉱山労働者二億二千万円の借金は『ゼイタク』からだと公表した。

坑外夫の平均賃金は一ケ月八千円家族三人半である。これでは足りないのが当り前である。労組職組合せて百人の内八十五人の借金が贅沢からなら贅沢させる罪が社会的にある。パチンコするのはその動機がくるしい生活のやるせないにもと思うやりくりからくる、つまりそれも賃金の少ないのに起因する。上野氏のようなプチブル階級には〃ゼイタク〃としか映らぬだろうが……。

借金の原因はスト？

借金の原因は昨年のストからでもある。馬鹿なストした罪だと上野氏はうそぶく。

もちろんそれもあるが、しかしストがいけないとは暴言である。ストは労働者がもつたつた一つの生活擁護権である。今九州大手筋鉱山の人員整理に、三井鉱山が首切りをやらぬのは昨年のスト勝利の結果である。五千万円会社が貸したのもそのためである。ストもせず勝手に首切られていたら今頃どうなるか、賃金引下げ、首切りは会社の思うがまゝであろう。

會社から借りたら頭が上らぬ？

高利貸の借金を会社から五千万円貸してもらつたら今後どんなストをやつても三井の労働者は絶対にまける、会社がきつと勝つと上野氏は言葉を続け、〃出かした三井〃と会社をほめる。これまた無知も甚だしいと云わざるを得ない。会社は昨年スト以来労働者との摩擦をさけることに方針をかえている。労働者を圧迫するための伏兵ではない。労働者も五千万円の借金で闘争の鋭鋒がにぶるような考えは毛頭あるはずがない。

子供も協力

三池炭婦協では、中小炭鉱救済をいち早く着手し、第二次第三次と同情の手はのべられている。愈々寒波もせまつた十二月十日、衣料を重点に組合の三輪車で炭婦協及び教宣部が協力して集積中、勝立社宅で児童達が、中小鉱の実情を質問して、そんなに困つているなら私達も一役と、早速話合つて鉛筆、紙など学用品を持ち寄り一緒に送つてくれと差出した。

このよい子達は大砂地域分会の子供会の人々であつた。

上村副會長談

ほんとうに、子供達までが協力してくれるかと思うと涙が出ました

借金撲滅は健全娯樂だ

気狂いクラブという名のチーム

三池労組の四山支部大島社宅に気狂い倶楽部が誕生してより一年になろうとしている。気狂い倶楽部とはソフトボールの同好の人々によるもので目的は家庭経済の引きしめと地域住民の融和を図り、健康な心身を鍛えるとある。現在男六八名、女二六名の世帯で月五十円の会費を徴集している。会員の奥さんの感想を聞いてみると僅か五十円の会費で、今までのパチンコ代、飲み代等多くて五、六千円吹つとんでいたのが、仕事から帰る途端に大きちがいに引ツ張り出され練習やら他流試合で日没を忘れて興じる。大いに遊び心よい疲れを覚えながらも一家揃つての夕飯后の団欒をたのしむ姿は妻となつて嬉しさと信頼の夫にこの上もない愛情を覚えると手ばなしののろけを記者はきかされた程だ。

会長の抱負の一端を披露すると、波静かな平常の時はスポーツ気ちがいになるが労働運動に対する意欲は、若し鎌倉というときは有働病院を呼び出したきちがい以上にやりますよ。と意気軒昂なことに記者は心強い気持につゝまれ引上げた。

三山の闘争写眞展

の企圖へ

炭鉱労働者の困難な闘争が日一日と重ねられてくる。このような闘いの中に組合員及び主婦の闘う意識の盛り上り等を十分に検討し、組合員の中に写真の愛好者の方は今后に於けるあらゆる闘いの記録写真を保存して近き三山の闘争写真展を開催して闘いの後の反省も行い、又愛好者達の技術の向上と一層両得の考えを三山に於て内容の検討を行つている。現在までの写真も一緒に保存をお願い致します。

働く者の社会をつくる

地方議員候補決定

数の暴力を思うがまゝに振舞つた吉田内閣もついに総辞職をした。愈々吾々働く者の国、社会をつくる時期が一歩近づいたのだ。組合では来るべき地方選挙を直近かに控え、地方議会に働く者の声を反映するため、着々と選挙態勢を固め、公認候補の推薦を大衆討議で決めることを中央委員会で決定し各集会で討論、人選がなされたが十日高田村村議決定を最後に、市会、村会議員候補は次の様に決定した。

△大牟田市

松本　勇	四山支部長、現市議
月足　康徳	三川委員
仏沢　修助	三川労働部員
川畑　昭二郎	港務労働部長
小宮　生計	宮浦、現市議
蓮尾　信次郎	宮浦、前大地評局長
中川　末義	本所、本部総務部長
石橋　進	製作所支部長

△荒尾市

益田　武利	三川、前支部厚生部長
坂口　操	三川委員
村本　新	三川、元執行員
寺田　武雄	三川委員
小森　隆一	三川委員
浦浜　眞光	四山、元執行員
奥　猛	四山委員
福川　次郎	本所委員

△高田村

森尾　常正	製作元地域分会長

知識欲高まる

何が讀まれているか

昨年から、教宣部では九州大学の講師の方を招いて学習運動を起しこれが大衆化していま各支部でなされている。この研究会で何が読まれているかを、市内さつき書店のニユースから拾つてみると、四山支部では「共産党宣言」、三川支部は「賃金労働と資本」、港務支部も「賃金労働労働と資本」、宮浦支部は「空想より科学への社会主義の発展」、本所支部は「資本論」、製作支部は「賃金労働と資本」に決りそうである。

なお宮浦支部大砂地域青年部では「社会科学キソ講座」を学んでいる。

＝今週の映画＝

△セントラル…（15−21）大砂塵　第十一監房の暴動

△大天地…（15−21）この広い空のどこかに、鶏はふたたび鳴く　鉄仮面・三部、世界女子プロレスリング

△太陽館…（15−21）勝敗、女性に関する十二章、怪傑鷹・二部

△東映…（15−21）変化大名、龍虎八天狗・三部

△銀星…（15−18）午後のラッパ、赤穂義士、大アマゾンの半魚人

△宇宙館…（15−18）忠臣蔵、君死に給うこと勿れ

△新世界…（15−21）女性に関する十二章、勝敗、こぐま物語、ビーバの谷

△荒尾大天地…（15−21）罪ある女、暗黒の命令、硝煙の新天地

△宝星…（15−18）母の秘密、唄時雨おしどり若衆、新納鶴千代

△名画座…（15…21）鶏はふたゝび鳴く、黒い絨毯、続変化大名龍虎八天狗・二部

△柳川国際…（15−18）父の女、お富さん、地獄の狼